

令和6年度 第1回 上武大学 生理学・看護学等研究倫理委員会 議事録

日 時：令和6年6月17日（月） 13時30分～15時

場 所：法人本部棟2階 大会議室

出席者

委員長：澁谷 正史

委 員：生方 政文、紺 正行、鈴木 守
安部 まゆみ、大森 肇

欠席者：加藤 政彦、高橋 ゆかり

記 録：上原 恵美

議 題：研究に関わる倫理問題の審査について

資 料：（1）倫理申請書コピー
（2）研究倫理委員会参考資料

【開 会】

【議 題】 研究に関わる倫理問題の審査について（9件）

1. アスリートの高い運動スキルのバイオメカニクスの・神経科学的メカニズム

申請者：ビジネス情報学部 准教授 中川 剣人

- ・申請者から、研究計画の概要についての説明がされた。
- ・委員より、様式2 研究計画書「10.研究方法」について、同意の取り方の記載が不足（説明、同意書配付、回収のタイミングと方法の詳細を記載する。）→同様に、様式3の研究に関する被験者の方への説明文書の〔研究方法〕も併せて修正するよう指摘があった。
 - ・申請者より、書類を修正する旨の返答があった。
- ・委員より、様式2 研究計画書「14.研究に係る個人情報の保護」について、(1) 個人情報の扱いの有無は①にチェックを入れる。伴い、(2)・(3)・(4)・(5)・(6)についても適切なものにチェックを入れるよう指摘があった。
 - ・申請者より、書類を修正する旨の返答があった。
- ・委員より、研究参加フォーム てんかんに該当する場合、データを削除する旨を追記すること、また、削除する前のデータの流出がおこらないように確認しておく必要があると指摘があった。
 - ・申請者より、指摘事項について再度検討する旨の返答があった。

審査結果：書類修正の必要あり

2. 運動・スポーツ時の巧みな動作のメカニズム（卒業研究）

申請者：ビジネス情報学部 准教授 中川 剣人

- ・申請者から研究の概要についての説明がされた。
 - 生理学・看護学等研究倫理申請書の研究内容と同じため、委員の先生方からの質問は特になし。

審査結果：条件付承認

条件：生理学・看護学等研究倫理申請書（アスリートの高い運動スキルのバイオメカニク

的・神経科学的メカニズム) が承認されること)

3. 4. 5. 身体の構造学的特徴と運動能力の関係性 (卒業研究) (3件)

申請者: ビジネス情報学部 教授 西川 彰

- ・申請者より、研究概要についての説明がされた。
- ・委員より、様式2 研究計画書「1.研究計画名」を卒業研究課題名に変更するよう指摘があった。(ビ情の倫理検討会で作成している申請書フォーマットを修正する。)
 - ・申請者より、書類を修正する旨の返答があった。
- ・委員より、様式2 研究計画書「9.倫理的配慮」の②被験者に健康被害等の有害事象がおこる可能性があるについて、「はい」にチェックを入れるよう指摘があった。(被害が起きた場合の医療費等の補償は、学生教育研究災害傷害保険による補償が適用されると追記する。)
 - ・申請者より、書類を修正する旨の返答があった。
- ・委員より、様式2 研究計画書「10.研究方法」について、同意の取り方の記載が不足(説明、同意書配付、回収のタイミングと方法の詳細を記載する。)と指摘があった。(同様に、様式3の研究に関する被験者の方への説明文書の〔研究方法〕も併せて修正する。)
 - ・申請者より、書類を修正する旨の返答があった。
- ・委員より、様式3 被験者への説明文書①柔整以外の学生も被験者に含まれる可能性があるのなら、専門用語には説明を入れた方が良いと指摘があった。
 - ・申請者より、測定方法やトレーニング方法について図および写真を加えた配付資料を検討している旨の説明があった。

審査結果: 書類修正の必要あり

6. 低強度・低回数の事前運動は高強度運動に伴う筋痛・筋損傷を抑制できるか~「繰り返し効果」が発現する有効最低回数の探求~

申請者: ビジネス情報学部 教授 大森 肇

- ・申請者より、研究概要についての説明がされた。
- ・委員より、様式2 研究計画書 ヘッダーの研究計画名に研究計画名を記載するよう指摘があった。
 - ・申請者より、書類を修正する旨の返答があった。
- ・委員より、様式2 研究計画書「6. その他の研究者」に、採血に責任を持つ研究者名（さらに、必要に応じて、医師免許を持つ研究者名）が必要ではないかとの指摘があった。
 - ・申請者より、検討する旨の返答があった。
- ・委員より、様式2 研究計画書「9. 倫理的配慮」の②被験者に健康被害等の有害事象がおこる可能性があるについて、の括弧書き内を（被害が起きた場合の医療費等の補償は、学生教育研究災害傷害保険による補償が適用される。）と記載するよう指摘があった。
 - ・申請者より、書類を修正する旨の返答があった。
- ・委員より、式2 研究計画書「10.研究方法」について、同意の取り方の記載が不足（説明、同意書配付、回収のタイミングと方法の詳細を記載する。）と指摘があった。（同様に、様式3の研究に関する意見者の方への説明文書の〔研究方法〕も併せて修正する。）
 - ・申請者より、書類を修正する旨の返答があった。
- ・委員より、様式2 研究計画書「10. 研究方法」について、測定項目を追記するよう指摘があった。
 - ・申請者より、書類を修正する旨の返答があった。
- ・委員より、様式2 研究計画書10. 研究方法」に記載されている、Chen et al (2012)の先行研究で〜と書かれている文面は、「9. 研究の意義・目的」に記載する。伴い、様式3の研究に関する被験者の方への説明文書も同様に修正するよう指摘があった。
 - ・申請者より、書類を修正する旨の返答があった。
- ・委員より、様式2 研究計画書「19. 本研究の資金源」について、②のチェックを外し、③にチェックする。伴い様式3の研究に関する被験者の方への説明文書の【研究のための費用】についても修正するよう説明があった。
 - ・申請者より、書類を修正する旨の返答があった。

・委員より、様式2 研究計画書「22. 研究に伴い被験者に健康被害等の有害事象が生じた場合の補償」について、②のチェックを外し、⑤にチェックを入れる。なお、⑤の括弧書きには、(実験参加上、原則として特別な補償はない。しかし、本研究は教育研究活動の一環であることから学生教育研究災害傷害保険による補償が適用される。)等と記載する。併い、様式3の研究に関する被験者の方への説明文書の【研究に伴う補償】についても修正するよう指摘があった。

・申請者より、書類を修正する旨の返答があった。

審査結果：書類修正の必要あり

7. 運動に伴う疲労および筋肉痛に関する研究 (卒業研究)

申請者：ビジネス情報学部 教授 大森 肇

・申請者より、研究概要についての説明がされた。

・委員より、様式2 研究計画書「1.研究計画名」を卒業研究課題名に変更するよう指摘があった。(ビ情の倫理検討会で作成している申請書フォーマットを修正する。)

・申請者より、書類を修正する旨の返答があった。

・委員より、様式2 研究計画書「10. 研究方法」について、同意のとり方の記載が不足(説明、同意書配付、回収のタイミングと方法の詳細を記載する。)→同様に、様式3の研究に関する被験者の方への説明文書の【研究方法】も併せて修正するよう指摘があった。

・申請者より、書類を修正する旨の返答があった。

・委員より、様式3 被験者の方への説明文書 【研究のための費用】に記載している2行目の■を削除するよう指定があった。

・申請者より、書類を修正する旨の返答があった。

審査結果：書類修正の必要あり

8. 看護研究倫理コンサルテーションを活用した研究倫理教材の作成及び教育の実施と評価(変更申請のため書類審査)

申請者：看護学部 教授 箕輪 千佳

・委員より、様式2 研究計画書 6.その他の研究者に、7.共同研究機関(2)で追加した中村先生を追記するよう指摘があった。

審査結果：書類修正の必要あり

9. 足関節捻挫後の変形性変化に関するリスクファクターの検討(変更申請のため書類審査)

申請者：ビジネス情報学部 准教授 伊藤 新

委員の先生方からのコメントは特になし

審査結果：承認

以上
閉会